

2007年12月10日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月30日】

団体名 ワイルドダンス研究会 あおい

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ワイルドダンス研究会 あおい

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

一般的に車椅子ダンスは車椅子にのっている方々のダンスとしてのみ取り上げられていない称ですが、これは全障害の方々、又、お年寄りの方々が相互の励み合いにより、健康増進及びリハビリの為の物です。社会的にも今迄カリッ有り、今、老人施設、障害者施設、又、病院からの依頼も増えていきます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- ・車椅子ダンスレッスン 毎月定期的レッスン(福祉施設体育室にて14時~16時(土))
- ・定期的に知的障害施設訪問(月2回)
西東京市 競技会参加・戸倉上山田フェスティバル参加。
定期的に老人施設訪問(八野市・立川市)年6回
公立中学校 特別授業講師

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

公立中学校 特別授業に於て、障害者に対する理解が生まれる様になる。(終了後の感想文にて効果の度合いを確認済み)
サークルの中の障害者を同じ立場で物を見たり等が生まれる。障害の程度の自由にも役立てる。又、病院にても、車椅子ダンスでリハビリ効果を実地する。現在、職員がダンスに取り組んでいき。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

・車が多くなり障害の方々が常にレッスン中動く事が出来、以前より益々か出て来ている。本人達の頑張りがかか身体、顔に表われて来ている。
当サークルは、今後の活動に広い範囲で行動が出来、今後の目的を地域の中で確実にしていく自信が各メンバーに出て来ているので、今後活動の内容に期待して下さい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

(参考資料あり)・特になし